

みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

No.3

2023.5



ヒダリマキマイマイ / 40~50mm 撮影 / 大久保 千春 おおくほちはる



みんなで作る里山プロジェクト自然調査会

菅生沼・あすなるの里の図鑑制作をめざし、生きものや植物を子どもたちと調べる(調査する)あすなるの里の体験事業です。
参加してみたい方は、事務局までお問合せください

虫



▲同定中です(1月9日)



▲調べは続きます(1月9日)



▲まだ調べます(1月9日)



▲中沼にて(3月4日)

1月

1月9日(月) ●水海道あすなろの里 遊びの森

晴れ/弱風/14℃/14:00~16:30

【調査員】上山裕平、沢田明衣、大久保龍馬、関 健太郎、杉岡和樹、藤井 啓、常総みどりの会(上山耕平、大久保千春)

観察した種

コウチュウ目

ゴミムシダマシのなかま

ヤノナミガタチビタムシ?

コメツキムシのなかま(幼虫・成虫)

カメムシ目

ツヤアオカメムシ

マルカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

ハサミムシ目

ヒゲジロハサミムシ

カジリムシ目

チャタテムシのなかま

ヤノナミガタチビタムシ?

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

チャタテムシのなかま

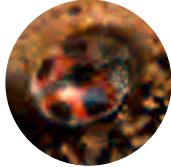
ツヤアオカメムシ

ホシハラビロヘリカメムシ

クロモンサシガメ

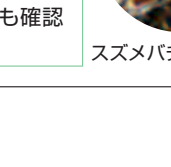
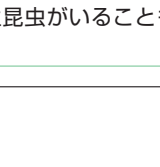
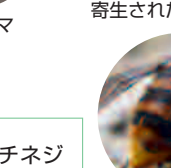
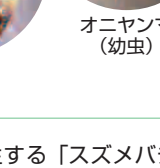
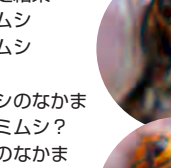
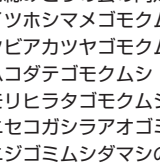
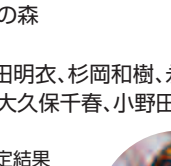
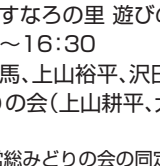
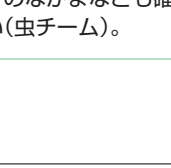
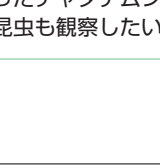
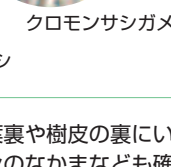
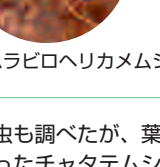
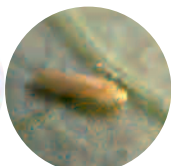
チャタテムシのなかま

※ケヤキ樹皮下で
モンクチビルテントウ(下の写真)を確認した
(藤井悟司氏より)



ヒゲジロハサミムシ

チャタテムシのなかま



3月

3月4日(土) ●菅生沼天神山公園

曇り/弱風/15℃/14:00~16:00

【調査員】関 健太郎、大久保龍馬、上山裕平、沢田明衣、杉岡和樹、永田啓辰、永田晴道、藤井 啓、常総みどりの会(可児修一、上山耕平、大久保千春)

観察した種

コウチュウ目

コガタルリハムシ

ナナホシテントウ

バッタ目

ツチイナゴ

カメムシ目

イネクロカメムシ

アワダチソウグンバイ

ゴキブリ目

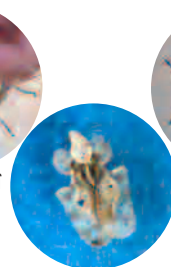
モリチャバネゴキブリ



コガタルリハムシ



ツチイナゴ



アワダチソウグンバイ



頭・胸



口吻部

イネクロカメムシ



▲調査会で一年間、いっぱい調べました!

2月

2月23日(木・祝) ●水海道あすなろの里 遊びの森

晴れ/弱風/13℃/14:00~16:30

【調査員】関 健太郎、大久保龍馬、上山裕平、沢田明衣、杉岡和樹、永田啓辰、永田晴道、藤井 啓、常総みどりの会(上山耕平、大久保千春、小野田裕介)

観察した種

コウチュウ目

カミキリムシのなかま(幼虫)

カブトムシ(幼虫)

コクワガタ(幼虫・成虫)

ハサミムシ目

ヒゲジロハサミムシ

トンボ目

オニヤンマ(幼虫)

ハチ目

コガタズメバチ

キロスズメバチ

常総みどりの会の同定結果

イツホシマメゴモクムシ

クビアカツヤゴモクムシ

ハコダテゴモクムシ

モリヒラタゴモクムシのなかま

ニセコガシラアオゴミムシ?

ニジゴミムシダマシのなかま



カミキリムシのなかま(幼虫)



オニヤンマ(幼虫)



コガタズメバチ(ネジレバチに寄生された働きバチ)



スズメバチネジレバチ

今日の感想

●コガタズメバチに寄生する「スズメバチネジレバチ」という小さな寄生昆虫がいることも確認した(虫チーム)。

今日の感想

●河川敷で草を食べるヤギと、落ちていたヒダリマキマイマイの殻を見つけた。

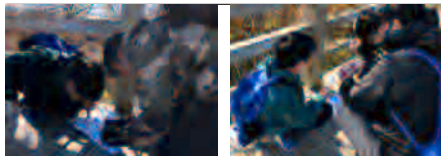


●飛んでいるチョウは他の公園でも観察できたので観察できると予想したが、全く見つからなかった。リーダーがしゃがみこみ、草花の葉裏をめくり、茎につく小さな虫を探し出してくれたので、普段見つけられないような小さな虫も図鑑で調べることができた(虫チーム)。

昆虫の先生から

寒い冬は、昆虫の姿を見る機会が減ってきますが、そのような中でも冬ごしする昆虫の姿をしっかりと観察できました。甲虫類の幼虫や成虫越冬する昆虫等々…、冬でも朽木の中に様々な昆虫を見つけることができるのを、実体験できたようですね。中でも、越冬中の小型スズメバチからスズメバチネジレバチを見出した観察眼は、素晴らしいです。暖かくなってきて昆虫の活動も活発になってきます。どんな昆虫が見られるようになるのか楽しみです。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館/久松 正樹



▲植物班も調べることがたくさん(1月9日)

植物



▲真冬に咲く野の花にであいました(2月23日)

1月

1月9日(月) ●あすなの里～菅生沼ふれあい広場

晴れ/無風/3℃/9:30～12:30

【調査員】福田藍斗、藤井悟司、常総みどりの会(長谷川としえ)

観察した種

シラカン(実)

オオイヌノフグリ

セイヨウタンポポ

ホトケノザ

コナラ(実)

コセンダングサ(実)

カナムグラ(実)

ネコヤナギ(冬芽)

ナズナ

タコノアシ(実)

ノイバラ(実)

マンリョウ(実)

カワヤナギ(冬芽)

コハコベ

ノボロギク

マルバヤナギ(冬芽)

アマチャヅル(実)



オオイヌノフグリ



ナズナ



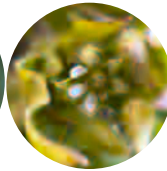
ノイバラ
(実)



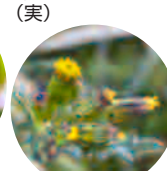
マンリョウ



ホトケノザ



コハコベ



ノボロギク



アマチャヅル
(実)

今年は植物の名前をたくさんおぼえたい。
福田 藍斗さん(つくばみらい市)

今日の感想

●冬を過ごす植物の形はさまざまだった。
次年は、ロゼットの越冬も調べていく(植物チーム)。

2月

2月23日(木・祝) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場

晴れ/弱風/5℃/10:00～12:00

【調査員】松橋明里、福田藍斗、藤井悟司、常総みどりの会(長谷川としえ)

観察した種

ホトケノザ

ヒメオドリコソウ

オオイヌノフグリ

ナズナ

ノゲシ

コハコベ

コセンダングサ(種)

ヤブラン(実)

ノキシノブ

ノボロギク

タコノアシ

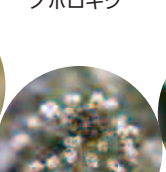
カラシナ

ヨモギ

ノビル



ホトケノザ



ナズナ



コハコベ



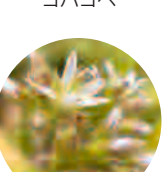
ヤブラン(実)



ヒメオドリコソウ



ノボロギク



オランダミミナグサ

3月

3月4日(土) ●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場

晴れ/弱風/11℃/10:00～12:00

【調査員】松橋明里、福田藍斗、藤井悟司、常総みどりの会(長谷川としえ)

観察した種

ホトケノザ

オオイヌノフグリ

ヤブラン(実)

コハコベ

タネツケバナ

ネコヤナギ

ヒメオドリコソウ

ミチタネツケバナ

カラシナ

ナズナ

オヤブジラミ

カラスノエンドウ

シロツメクサ

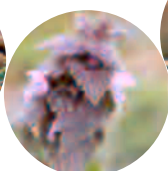
ノボロギク



ホトケノザ・ノボロギク



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ



ノビル

▼冬越しをする植物のさまざまなようすが観察できました。
冬芽や実など、近づいてみるとカラフルです。



植物の先生から

寒さの中、良く調査されています。冬は見られる種類は限られますが、植物をじっくり観察するには良い季節です。「今日の感想」にあったロゼットなどもいろいろな形のものであって興味深いです。また、樹木の冬芽もそれぞれ特徴があり、葉が付いてなくても種名がわかることが多いです。クリとクヌギのように、葉はよく似ていて区別が難しいのに、冬芽は違いがはっきりしていて、かえって区別しやすいようなこともあります。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館/飯田 勝明

鳥



▲あすなる橋(1月9日)



▲下沼(2月23日)



▲下沼(3月4日)

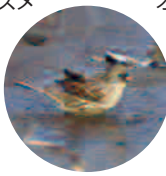
1月

1月9日(月)●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場
晴れ/3℃/無風/9:30～12:30

【調査員】平田 楽、常総みどりの会 (井上 純一)

観察した種(出現順)

シジュウカラ	カワウ	セグロセキレイ	カイツブリ
ウグイス	ダイサギ	アオサギ	カワセミ
ヒヨドリ	オオタカ	メジロ	ハイタカ
トビ	オオバン	ハシボソガラス	ノスリ
ハシブトガラス	バン	イカルチドリ	オカヨシガモ
アオジ	カシラダカ	ハシビロガモ	ホオジロ
モズ	ベニマシコ	コハクチョウ	コガモ
コゲラ	スズメ	オオハクチョウ	ガチョウ(外来種)



アオジ



モズ

越谷ではヒドリガモなども公園で見える。
しかし、オカヨシガモやハシビロガモは
あまり見ていない印象がある。

平田 楽さん/埼玉県越谷市小学6年生

今日の感想

●タカのなかまを多く目撃できたが、菅生沼でこの時期観察できそうなミサゴやチュウヒが確認できなかったので、次回に期待したい。
(鳥チーム)

2月

2月23日(木・祝)●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場
晴れ/5℃/弱風/10:00～12:00

【調査員】平田 楽、常総みどりの会 (井上 純一)

観察した種(出現順)

シジュウカラ	オオバン	シメ	ホシハジロ
ハシブトガラス	バン	ハクセキレイ	キンクロハジロ
メジロ	マガモ	ベニマシコ	カイツブリ
ヒヨドリ	カルガモ	カワウ	コハクチョウ
スズメ	オカヨシガモ	タヒバリ	オオハクチョウ
シロハラ	ダイサギ	ムクドリ	コハクチョウ(モニター種)
ウグイス	トビ	イカルチドリ	コジュケイ(外来種)
ホオジロ	カワセミ	タシギ	
カシラダカ	ヨシガモ		
オオジュリン	ツグミ		
アカゲラ	キセキレイ		



カシラダカ



ムクドリ

協力：ミュージアムパーク茨城県自然博物館/植物研究室 飯田 勝明、
動物研究室 西元 重雄(2023年3月迄)、久松 正樹(2023年4月以降)
日本野鳥の会茨城県/内田 初江
自然科学普及団体地球レーベル/ひとでちゃん(小松 真弓)
写真協力：大久保 千春、藤井 悟司、可児 修一
調査員サポート：保護者の皆様
ボランティア：常総みどりの会/可児 修一、小野田 裕介、上山 耕平、
井上 純一、長谷川 としえ、大久保 千春

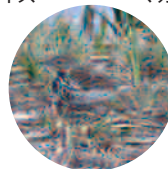
3月

3月4日(土)●菅生沼下沼～あすなる橋～菅生沼ふれあい広場
晴れ/11℃/弱風・西/10:00～12:00

【調査員】平田 楽、常総みどりの会 (井上 純一)

観察した種(出現順)

カワウ	カワラヒワ	オカヨシガモ	イカルチドリ
アオサギ	カシラダカ	カイツブリ	カワセミ
ダイサギ	アオジ	キジバト	オオハクチョウ
ハシブトガラス	オオジュリン	ハクセキレイ	コハクチョウ
モズ	ヒクイナ	セグロセキレイ	トビ
シジュウカラ	オオバン	コジュケイ	ホシハジロ
ヒヨドリ	コガモ	タシギ	
ウグイス	マガモ	タヒバリ	



タヒバリ



コハクチョウ



チュウヒ

※同日(15:00)、菅生沼中沼にてチュウヒを目撃。15℃(弱風・北)



▲チュウヒがいたよ(3月4日)

今日の感想

●チュウヒが観察できたのがおどろきだった。歩くだけでなく、同じ場所にとどまり観察することも大切かもしれない。猛禽類等が生息できる環境が下沼と上沼では違うのかもしれないため、来年度は上沼をじっくりと観察し、観察できる野鳥の種類の違いを確認したい。
(鳥チーム)

鳥の先生から

冬の菅生沼は、北の国から渡ってきた何種類ものカモやハクチョウ類などで賑わいます。ヨシ原のそばでじっと耳を澄ますと、たくさん種類の小鳥の音が賑やかです。菅生沼に注ぎ込む江川は、自然の流れのまま蛇行し、ヨシやアカメヤナギなどの植物が生えたところは小さい浮島のように、小鳥類が隠れるところがたくさんあります。その小鳥たちを狙う猛禽類も見られます。複雑な自然環境が絡みあう菅生沼で、冬の鳥たちはうまく暮らしています。

日本野鳥の会茨城県 副会長/内田 初江

里山プロジェクト自然調査会をふりかえって

落葉し褐色の景色の中、どこに虫が隠れているのか検討がつかない方もいたでしょう。植物は、良く知る春植物が冬に観察できたことや、「冬芽」という存在を初めて知った方もいました。鳥は、多数のカモ類の中から特定の種を識別し同種か他種かを見分けることは苦労したことでしょう。過酷な調査会もありましたが、各分野の指導者の先生方、関係者の皆さまのおかげで無事1年間の記録を残すことができました。

あすなるの里/坂入 真史